

2019（平成 31）年

沖縄県感染症発生動向調査事業報告書

沖縄県保健医療部地域保健課  
沖縄県衛生環境研究所

## はじめに

沖縄県の感染症発生動向調査事業の推進につきましては、一般社団法人沖縄県医師会をはじめ、定点医療機関など関係者の皆様方に多大なご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本事業は「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき実施しており、感染症の発生動向を継続的に把握し、その分析を行い、情報を公表することによって、感染症の発生及びまん延を防止することを目的としています。

さて、全国的には冬季に流行するインフルエンザですが、本県では夏季にも患者が増加することが知られています。2019年は、1月16日に警報が発令され、3月6日の解除後も患者報告数が途切れず、8月14日には注意報が発令されました。その後、報告数は増加し、9月11日には10年ぶりとなる夏季の警報発令となりました。

また、近年増加の傾向が見られるRSウイルス感染症では、全国では秋頃に流行するのに対し、県内では例年夏に流行が見られます。2019年は県内の1医療機関あたりの報告数が2011年以降過去最多を記録するなど、本県の感染症発生状況が全国とは異なること、そして、常日頃からの手洗いや咳エチケットなどの感染対策が重要であることが示されました。

本県としましては、引き続き関係機関と連携を図りながら、患者情報等の収集・解析・情報還元を積極的に行うとともに、本事業の推進と感染症対策の強化に努めて参ります。関係機関の皆様方には、今後とも御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年3月

沖縄県保健医療部地域保健課長

## 目 次

感染症法における届出対象疾患一覧	1
I 事業の概要	3
1 県内の保健所別定点数	4
2 感染症発生動向調査事業定点医療機関一覧（沖縄県）	5
3 報告週対応表および定点種別定点数（全国）	6
II 報告の概要	7
1 全数把握感染症（一～五類：87疾患）の報告状況	
(1) デング熱 (2) レジオネラ症 (3) 侵襲性肺炎球菌感染症	7
2 五類定点把握感染症（週報18疾患、月報7疾患）の報告状況	
(1) 週報	8
(2) 月報	9
3 週別患者発生状況	
(1) 報告数一覧表（沖縄県）	11
(2) 報告数一覧表（全国）	11
(3) グラフ一覧（沖縄県）	12
(4) グラフ一覧（全国）	15
4 月別患者発生状況	
(1) 報告数一覧表（沖縄県）	18
(2) グラフ一覧（沖縄県）	18
(3) 報告数一覧表（全国）	19
(4) グラフ一覧（全国）	19
III 定点把握対象 五類感染症（週報・月報）発生状況	
1 週報	
(1) インフルエンザ／小児科定点	
インフルエンザ	21
RSウイルス感染症	24
咽頭結膜熱（プール熱）	26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	28
感染性胃腸炎	30
水痘	32
手足口病	34
伝染性紅斑	36
突発性発疹	38
ヘルパンギーナ	40
流行性耳下腺炎	42

(2) 眼科定点		
急性出血性結膜炎	・ ・ ・ ・ ・	44
流行性角結膜炎	・ ・ ・ ・ ・	46

(3) 基幹定点		
細菌性髄膜炎	・ ・ ・ ・ ・	48
無菌性髄膜炎	・ ・ ・ ・ ・	50
マイコプラズマ肺炎	・ ・ ・ ・ ・	52
クラミジア肺炎	・ ・ ・ ・ ・	54
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	・ ・ ・ ・ ・	56

## 2 月報

(1) 性感染症 (STD) 定点		
性器クラミジア感染症	・ ・ ・ ・ ・	59
性器ヘルペスウイルス感染症	・ ・ ・ ・ ・	59
尖形コンジローマ感染症	・ ・ ・ ・ ・	59
淋菌感染症	・ ・ ・ ・ ・	59
疾患別患者報告数の年次推移	・ ・ ・ ・ ・	60
性別・年齢別患者報告数（沖縄県：2019年）	・ ・ ・ ・ ・	61

(2) 基幹定点(薬剤耐性菌)		
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA) 感染症	・ ・ ・ ・ ・	62
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP) 感染症	・ ・ ・ ・ ・	64
薬剤耐性緑膿菌感染症	・ ・ ・ ・ ・	66

## IV 資料編

### 1 各表

表1 疾病分類別報告数（沖縄県）	・ ・ ・ ・ ・	69
表2 疾病分類別報告数（全国）	・ ・ ・ ・ ・	72
表3 疾病別、年齢別区分による比較（週報・沖縄県）	・ ・ ・ ・ ・	75
表4 疾病別、年齢別区分による比較（月報・沖縄県）	・ ・ ・ ・ ・	76
表5 疾病別、年齢別区分による比較（月報・沖縄県(男性)）	・ ・ ・ ・ ・	77
表6 疾病別、年齢別区分による比較（月報・沖縄県(女性)）	・ ・ ・ ・ ・	77

### 2 全数把握感染症（全医療機関報告 2019年1月1日～12月31日）

(1) 一類感染症	・ ・ ・ ・ ・	78
(2) 二類感染症	・ ・ ・ ・ ・	78
(3) 三類感染症	・ ・ ・ ・ ・	89
(4) 四類感染症	・ ・ ・ ・ ・	90
(5) 五類感染症	・ ・ ・ ・ ・	93

### 3 定点把握対象 五類感染症（週報および月報）

感染症発生動向調査システム 警報・注意報の解説	109
-------------------------	-----

#### (1) 週報

##### ア. インフルエンザ/小児科定点

インフルエンザ	110
R S ウイルス感染症	112
咽頭結膜熱（プール熱）	114
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	116
感染性胃腸炎	118
水痘	120
手足口病	122
伝染性紅斑	124
突発性発疹	126
ヘルパンギーナ	128
流行性耳下腺炎	130

##### イ. 眼科定点

急性出血性結膜炎	132
流行性角結膜炎	134

##### ウ. 基幹定点

細菌性髄膜炎	136
無菌性髄膜炎	138
マイコプラズマ肺炎	140
クラミジア肺炎	142
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	144

#### (2) 月報

##### ア. 性感染症(STD)定点

性器クラミジア感染症	146
性器ヘルペスウイルス感染症	147
尖圭コンジローマ感染症	148
淋菌感染症	149

##### イ. 基幹定点(薬剤耐性菌)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症	150
ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症	151
薬剤耐性緑膿菌感染症	152

### 4 病原体検出状況

表1 年別・疾患別検査件数及び病原体検出数（沖縄県：2016-2019年）	153
表2 月別・疾患別検査件数及び病原体検出数（沖縄県：2019年）	154
表3 検出病原体一覧（沖縄県：2019年）	155

## V 参考資料

結核の発生動向（2019年）	157
腸管出血性大腸菌感染症の発生動向（2019年）	159
レジオネラ症の発生動向（2019年）	162
侵襲性肺炎球菌感染症の発生動向	164
梅毒の発生動向	166
後天性免疫不全症候群(HIV感染者/AIDS患者)の発生動向	169

# 感染症法における届出対象疾患一覧

(2019年12月31日現在)

## 1 医師による届出対象疾患

○届出基準:「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について」

### 一類

- |                 |             |
|-----------------|-------------|
| (1) エボラ出血熱      | (5) ペスト     |
| (2) クリミア・コンゴ出血熱 | (6) マールブルグ病 |
| (3) 痘そう         | (7) ラッサ熱    |
| (4) 南米出血熱       |             |

### 二類

- |  |  |
|--|--|
| (8) 急性灰白髄炎(ポリオ)  | (12) 中東呼吸器症候群<br>(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。) |
| (9) 結核   |  |
| (10) ジフテリア   | (13) 鳥インフルエンザ(H5N1)                                    |
| (11) 重症急性呼吸器症候群<br>(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。) | (14) 鳥インフルエンザ(H7N9)                                    |

### 三類

- |                  |            |
|------------------|------------|
| (15) コレラ         | (18) 腸チフス  |
| (16) 細菌性赤痢       | (19) パラチフス |
| (17) 腸管出血性大腸菌感染症 |            |

### 四類

- |  |                               |
|--|-------------------------------|
| (20) E型肝炎  | (41) デング熱                     |
| (21) ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む。)                         | (42) 東部ウマ脳炎                   |
| (22) A型肝炎  | (43) 鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。) |
| (23) エキノコックス症  | (44) ニパウイルス感染症                |
| (24) 黄熱  | (45) 日本紅斑熱                    |
| (25) オウム病  | (46) 日本脳炎                     |
| (26) オムスク出血熱   | (47) ハンタウイルス肺症候群              |
| (27) 回帰熱   | (48) Bウイルス病                   |
| (28) キャサヌル森林病  | (49) 鼻疽                       |
| (29) Q熱  | (50) ブルセラ症                    |
| (30) 狂犬病   | (51) ペネズエラウマ脳炎                |
| (31) コクシジオイデス症                                       | (52) ヘンドラウイルス感染症              |
| (32) サル痘   | (53) 発しんチフス                   |
| (33) ジカウイルス感染症                                       | (54) ボツリヌス症                   |
| (34) 重症熱性血小板減少症候群<br>(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。) | (55) マラリア                     |
| (35) 腎症候性出血熱   | (56) 野兎病                      |
| (36) 西部ウマ脳炎  | (57) ライム病                     |
| (37) ダニ媒介脳炎  | (58) リッサウイルス感染症               |
| (38) 炭疽  | (59) リフトバレー熱                  |
| (39) チクングニア熱   | (60) 類鼻疽                      |
| (40) つつが虫病   | (61) レジオネラ症                   |
|  | (62) レプトスピラ症                  |
|  | (63) ロッキー山紅斑熱                 |

### 五類 全数把握対象

- |   |                                    |
|---|------------------------------------|
| (64) アメーバ赤痢   | (75) 侵襲性髄膜炎菌感染症 *直ちに届出             |
| (65) ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)   | (76) 侵襲性肺炎球菌感染症                    |
| (66) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症   | (77) 水痘<br>(患者が入院を要すると認められるものに限る。) |
| (67) 急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)   | (78) 先天性風しん症候群                     |
| (68) 急性脳炎<br>(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。) | (79) 梅毒                            |
| (69) クリプトスポリジウム症  | (80) 播種性クリプトコックス症                  |
| (70) クロイツフェルト・ヤコブ病  | (81) 破傷風                           |
| (71) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症   | (82) バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症           |
| (72) 後天性免疫不全症候群   | (83) バンコマイシン耐性腸球菌感染症               |
| (73) ジアルジア症   | (84) 百日咳                           |
| (74) 侵襲性インフルエンザ菌感染症   | (85) 風しん *直ちに届出                    |
|   | (86) 麻しん *直ちに届出                    |
|   | (87) 薬剤耐性アシネトバクター感染症               |

診断後直ちに届出

全数報告

七日以内に届出

## 五類 定点把握対象

週報・月報報告

- 週報・小児科定点  
 (88) RSウイルス感染症  
 (89) 咽頭結膜熱  
 (90) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎  
 (91) 感染性胃腸炎  
 (92) 水痘  
 (93) 手足口病  
 (94) 伝染性紅斑  
 (95) 突発性発しん  
 (96) ヘルパンギーナ  
 (97) 流行性耳下腺炎  
 (98) インフルエンザ<sup>\*1</sup>  
 (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)  
 (99) 急性出血性結膜炎  
 (100) 流行性角結膜炎
- 基幹定点、週報  
 インフル、眼科定点

- 週報  
 基幹定点  
 (101) クラミジア肺炎(オウム病を除く)  
 (102) 細菌性髄膜炎  
 (インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。)  
 (103) マイコプラズマ肺炎  
 (104) 無菌性髄膜炎  
 (105) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスに限る。)\*2  
 (106) 性器クラミジア感染症  
 (107) 性器ヘルペスウイルス感染症  
 (108) 尖圭コンジローマ  
 (109) 淋菌感染症  
 (110) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症  
 (111) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症  
 (112) 薬剤耐性緑膿菌感染症
- 性月報  
 感染症定点  
 基幹月報  
 月報  
 基幹定点

定点報告

\*1 インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)の基幹定点の届出対象は入院したもの  
 \*2 (105)感染性胃腸炎のうち、病原体がロタウイルスであるものを基幹定点から届け出る

## 新型インフルエンザ等感染症

(113) 新型インフルエンザ

(114) 再興型インフルエンザ

## 指定感染症

該当なし

## 法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症

(115)疑似症

診断後直ちに届出

全数報告

定点報告

届出は管轄保健所へ

## 2 獣医師による届出対象疾患と動物

○届出基準:「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第13条第1項の規定に基づく届出の基準について」

## 感染症法第13条に基づく獣医師が届出を行う感染症と動物

- |   |   |
|---|---|
| (1) エボラ出血熱(サル)  | (6) ウエストナイル熱(鳥類に属する動物)                  |
| (2) 重症急性呼吸器症候群(病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る(イタチアナグマ、タヌキ及びハクビシン)) | (7) エキノコックス症(犬)                         |
| (3) ペスト(プレリードッグ)  | (8) 結核(サル)                              |
| (4) マールブルグ病(サル)   | (9) 鳥インフルエンザ<br>(H5N1またはH7N9(鳥類に属する動物)) |
| (5) 細菌性赤痢(サル)   | (10) 中東呼吸器症候群(ヒトコブラクダ)                  |

届出は管轄保健所へ

# I 事業の概要

## I 事業の概要

沖縄県は 1980 年 7 月から県医師会および定点医療機関の協力のもとに全県的な感染症の報告体制を構築し、疾患の流行状況の把握に努めるべく、感染症サーベイランス事業を厚生省（現厚生労働省）より早く開始した。

厚生省は、1981 年 7 月から感染症の実態を的確に把握するために全国的な感染症サーベイランス事業を開始した。さらに、1987 年 1 月から新たに「結核・感染症サーベイランス事業」となり、全国の保健所、都道府県（指定都市）、厚生省（現厚生労働省）間がコンピュータオンラインシステムで結ばれ、結核および感染症の情報が迅速かつ的確に利用できるようになった。

感染症サーベイランス事業は、1998 年より感染症発生動向調査事業となり、さらに「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下「感染症法」とする。）が 1999 年 4 月から施行され、感染症対策の強化が行われてきた。

2006 年 4 月には、新しい全国オンラインシステムである感染症サーベイランスシステム（NESID）が稼働している。

2019 年末までに届出対象となる感染症は、一類感染症 7 疾患、二類感染症 7 疾患、三類感染症 5 疾患、四類感染症 44 疾患、五類感染症 49 疾患（全数把握 24 疾患、定点把握 25 疾患）、新型インフルエンザ等が 2 疾患、指定感染症 0 疾患（該当なし）、法第 14 条第 1 項に規定する厚生労働省令で定める疑似症の計 115 疾患である。なお、法第 14 条第 1 項に規定する厚生労働省令で定める疑似症は、定義が 2019 年 4 月 1 日より変更され、発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの、となった。

これらの感染症は、患者発生状況を医療機関が所管保健所に報告し、各保健所からの報告を県地域保健課で集約して国に報告している。感染症情報の迅速な提供を図るための施設として感染症情報センターが衛生環境研究所に設置され、データ収集及び提供を行っている。県地域保健課および各保健所においては、感染症情報センターで処理された集計データおよび全国の還元データを利用し、各関係機関に情報提供をするとともに、感染症の流行状況の把握を行っている（次頁「感染症発生動向調査事業～患者情報の流れ～」を参照）。

また、衛生環境研究所では、病原体定点などの医療機関から搬入された検体について病原体の検索を行い、得られた結果を各関係機関に情報提供しているが、2016 年 4 月の感染症法の一部改正法の施行に伴い、病原体情報の収集体制が強化された。

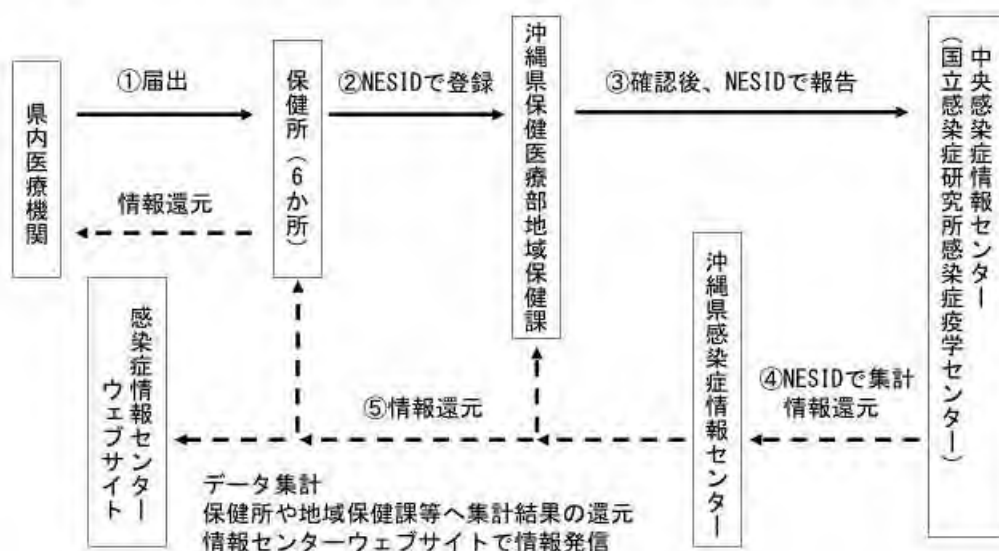
【沖縄県感染症情報センター ウェブサイト】

<https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjouhou/home.html>

【定点医療機関】

2019 年末時点の県内の定点医療機関は、小児科 34 定点、インフルエンザ 58 定点（同小児科 34 定点＋内科 24 定点）、眼科 9 定点、性感染症 12 定点、基幹 7 定点の合計 86 定点である。

感染症発生動向調査事業 ～患者情報の流れ～



1 県内の保健所別定点数（2019 年 12 月 31 日時点）

保健所名	小児科 定点 (ア)	内科 定点 (イ)	インフルエンザ 定点 (ア) + (イ)	眼科 定点	性感染症 (STD) 定点	基幹 定点	医療 機関数
①北部保健所	3	2	5	1	1	1	5
②中部保健所	12	8	20	2	4	2	23
③那覇市保健所	7	5	12	1	3	1	10
④南部保健所	8	6	14	3	4	1	16
⑤宮古保健所	2	2	4	1	0	1	5
⑥八重山保健所	2	1	3	1	0	1	3
合計	34	24	58	9	12	7	62

## 2 感染症発生動向調査事業定点医療機関一覧（沖縄県）

2019年12月31日現在

			全 86 定点	34	24	9	12	7
保健所名	医療機関名	住 所	( 定点名 )	小児科	内科	眼科	STD	基幹
1	北部保健所	県立北部病院	名護市大中2-12-3	小児科、内科、基幹	●	●		●
2		儀保小児科内科医院	名護市大西2-4-32	小児科	●			
3		今帰仁診療所	今帰仁村字謝名139	小児科、内科	●	●		
4		さくら眼科	名護市伊差川310-1	眼科		●		
5		なかち泌尿器科クリニック	名護市大中5-4-50	STD( 泌 )			●	
1	中部保健所	医療法人ユカリア沖縄 かなな病院	宜野座村字漢那469	内科	●			
2		石川医院	うるま市石川2-21-5	内科	●			
3		医療法人きんクリニック	金武町字金武94	内科	●			
4		岸本内科クリニック	沖縄市登川1-1-24	内科	●			
5		愛聖クリニック	沖縄市高原5-15-11	内科	●			
6		よなみね内科	宜野湾市普天間2-4-5	内科	●			
7		ライフケアクリニック長浜	読谷村字長浜1530-1	内科	●			
8		ちばなクリニック	沖縄市字知花6-25-15	小児科、内科、STD( 泌 )	●	●	●	
9		県立中部病院	うるま市宮里281	小児科、基幹	●			●
10		みやぎ小児科クリニック	宜野湾市我如古447	小児科	●			
11		嘉数医院	沖縄市諸見里1-26-2	小児科	●			
12		大嶺医院	うるま市田場1417	小児科	●			
13		山田小児科内科医院	うるま市石川東山1-19-11	小児科	●			
14		もりなが内科・小児科クリニック	北谷町美浜2丁目7-4	小児科	●			
15		伊元小児科医院	沖縄市字泡瀬4-39-12	小児科	●			
16		そけん小児科	読谷村字波平2459	小児科	●			
17		愛知クリニック	宜野湾市字愛知16-1	小児科	●			
18		いとむクリニック	宜野湾市伊佐1-10-9	小児科	●			
19		宮里眼科	うるま市石川東山1-22-2	眼科		●		
20		ひかり眼科	宜野湾市字愛知45	眼科		●		
21		中頭病院	沖縄市知花6-25-5	基幹			●	●
22		うえむら病院	中城村字南上原803-3	小児科、STD( 産 )	●		●	
23		中部徳洲会病院	北中城村アワセ土地区画整理事業地内2街区1	STD( 産 )			●	
1	南部保健所	浦添総合病院	浦添市伊祖4-16-1	内科	●			
2		同仁病院	浦添市城間1-37-12	内科	●			
3		みゆき小児科	浦添市字前田3-3-8-103号	小児科	●			
4		たから小児科医院	浦添市大平1-36-5 おながハイツ	小児科	●			
5		ティーダこどもクリニック	浦添市城間4-3-10-1	小児科	●			
6		比嘉眼科病院	浦添市城間4-34-20	眼科		●		
7		県立南部医療センター・こども医療センター	南風原町字新川118-1	小児科、内科、基幹、STD( 泌 )	●	●	●	●
8		南部徳洲会病院	八重瀬町字外間171-1	内科、STD( 泌 )	●		●	
9		豊見城中央病院	豊見城市字上田25	小児科、内科、STD( 産 )	●	●	●	
10		わんぱくクリニック	南風原町字津嘉山1674	小児科	●			
11		与那原中央病院	与那原町字与那原2905	内科	●			
12		ひめゆりクリニック	糸満市字伊原107-1	小児科	●			
13		あおぞら小児科	与那原町字上与那原340-1	小児科	●			
14		安里眼科	糸満市字潮平722	眼科		●		
15		はえばる眼科医院	南風原町字兼城725	眼科		●		
16		パークレーレディースクリニック	浦添市当山2-2-11	STD( 産 )			●	
1	宮古保健所	県立宮古病院	宮古島市平良字東仲宗根807	小児科、基幹	●			●
2		ひが小児科医院	宮古島市平良西里781-5	小児科	●			
3		池村内科医院	宮古島市平良字東仲宗根194	内科		●		
4		下地眼科医院	宮古島市平良下里577-1	眼科		●		
5		きしもと内科医院	宮古島市平良字下里1555-1	内科・消化器内科		●		
1	保八健重所山	県立八重山病院	石垣市字大川732	小児科、内科、基幹	●	●		●
2		よしもとこどもクリニック	石垣市登野城1024-1	小児科	●			
3	那覇市保健所	宮良眼科医院	石垣市字大川140	眼科		●		
1		那覇市立病院	那覇市古島2-31-1	小児科、内科、基幹、STD( 産 )	●	●	●	●
2		沖縄赤十字病院	那覇市与儀1-3-1	小児科、内科、STD( 産 )	●	●	●	
3		沖縄協同病院	那覇市古波蔵4-10-55	小児科、内科	●	●		
4		西町クリニック	那覇市西3-4-1 アーバンビュー西町	小児科、内科	●	●		
5		かおる小児科	那覇市字国場724-3 メゾンセブン101	小児科	●			
6		宮城小児科医院	那覇市牧志2-16-5	小児科	●			
7		安謝小児クリニック	那覇市安謝215-1 やしま産業ビル1・2F	小児科	●			
8		真玉橋クリニック	那覇市識名1316-3	内科		●		
9		石川眼科医院	那覇市泉崎2-3-20	眼科		●		
10		大浜第一病院	那覇市天久1000	STD( 泌 )			●	

### 3 報告週対応表および定点種別定点数（全国）

月	週	平 均			週 報				月 報	
					インフルエ ンザ定点	小児科 定点	眼科定点	基幹定点	STD定点	基幹定点
		期間			4,940	3,156	694	479	983	480
1月	1	12/31	～	1/6	4,797	3,039	681	481	986	482
	2	1/7	～	1/13	4,962	3,171	698	481		
	3	1/14	～	1/20	4,966	3,174	699	481		
	4	1/21	～	1/27	4,967	3,176	699	481		
	5	1/28	～	2/3	4,967	3,174	699	481		
2月	6	2/4	～	2/10	4,963	3,170	698	481	987	481
	7	2/11	～	2/17	4,966	3,175	698	480		
	8	2/18	～	2/24	4,965	3,176	696	480		
	9	2/25	～	3/3	4,965	3,171	699	479		
3月	10	3/4	～	3/10	4,969	3,175	697	480	983	480
	11	3/11	～	3/17	4,962	3,170	697	479		
	12	3/18	～	3/24	4,960	3,170	699	480		
	13	3/25	～	3/31	4,958	3,172	697	480		
4月	14	4/1	～	4/7	4,956	3,162	699	479	981	480
	15	4/8	～	4/14	4,957	3,169	700	479		
	16	4/15	～	4/21	4,960	3,169	699	479		
	17	4/22	～	4/28	4,932	3,155	694	477		
	18	4/29	～	5/5	4,601	2,911	635	478		
5月	19	5/6	～	5/12	4,956	3,169	700	479	985	480
	20	5/13	～	5/19	4,960	3,170	699	479		
	21	5/20	～	5/26	4,958	3,171	699	479		
	22	5/27	～	6/2	4,962	3,174	699	479		
6月	23	6/3	～	6/9	4,962	3,172	698	479	983	480
	24	6/10	～	6/16	4,954	3,167	700	479		
	25	6/17	～	6/23	4,962	3,172	698	478		
	26	6/24	～	6/30	4,957	3,173	698	478		
7月	27	7/1	～	7/7	4,956	3,173	697	479	983	479
	28	7/8	～	7/14	4,949	3,167	699	478		
	29	7/15	～	7/21	4,955	3,170	698	478		
	30	7/22	～	7/28	4,957	3,170	698	479		
	31	7/29	～	8/4	4,942	3,167	697	479		
8月	32	8/5	～	8/11	4,835	3,100	681	477	983	480
	33	8/12	～	8/18	4,750	3,018	668	479		
	34	8/19	～	8/25	4,919	3,144	693	479		
	35	8/26	～	9/1	4,943	3,157	699	479		
9月	36	9/2	～	9/8	4,951	3,165	693	479	984	480
	37	9/9	～	9/15	4,945	3,159	696	479		
	38	9/16	～	9/22	4,943	3,164	696	479		
	39	9/23	～	9/29	4,953	3,160	697	479		
10月	40	9/30	～	10/6	4,963	3,171	698	479	981	480
	41	10/7	～	10/13	4,942	3,162	696	479		
	42	10/14	～	10/20	4,951	3,161	693	477		
	43	10/21	～	10/27	4,964	3,171	698	479		
	44	10/28	～	11/3	4,950	3,165	695	479		
11月	45	11/4	～	11/10	4,959	3,167	696	478	982	480
	46	11/11	～	11/17	4,967	3,171	696	479		
	47	11/18	～	11/24	4,959	3,167	696	479		
	48	11/25	～	12/1	4,967	3,172	697	479		
12月	49	12/2	～	12/8	4,967	3,170	696	479	982	480
	50	12/9	～	12/15	4,966	3,169	697	479		
	51	12/16	～	12/22	4,969	3,172	695	479		
	52	12/23	～	12/29	4,951	3,159	692	478		

## Ⅱ 報告の概要

## Ⅱ 報告の概要

2019（平成 31）年、本県での報告は、一類感染症が 0 人、二類感染症が 316 人、三類感染症が 20 人、四類感染症が 60 人、五類感染症が 64,785 人（全数把握疾患：382 人、定点把握疾患：64,403 人）であり、対象感染症 115 疾患の合計は 65,181 人であった。

五類感染症定点把握疾患は、週単位報告（週報）と月単位報告（月報）に大別される。週報はインフルエンザ定点、小児科定点、基幹定点報告に、月報は性感染症（STD）定点と基幹定点（薬剤耐性菌）報告に細分類される。

週報は、2018（平成 30）年 12 月 31 日～2019（令和元）年 12 月 29 日までの 52 週分である。月報は、2019（平成 31）年 1 月 1 日～12 月 31 日までの 12 ヶ月分である。

### 1 全数把握感染症（一～五類：87 疾患）の報告状況

（Ⅳ 1（表 1、表 2）及びⅣ 2 を参照）

2019 年県内で報告された全数把握感染症は 28 疾患で 778 人である。

注目された感染症は以下のとおりである。

#### （1）デング熱（四類感染症）

2019 年の報告数は 10 人で、前年の 0 人から増加した。性別では男性が 8 人、女性が 2 人であった。年代別では 20 代から 70 代まで幅広く、推定感染地域は全て国外であった（県内との重複 1 例を含む）。

#### （2）レジオネラ症（四類感染症）

報告数は 2015 年以降増加傾向にあり、2019 年の報告数は 30 人で、過去 10 年で最も多かった。性別では男性が 25 人、女性が 5 人であり、年代別では 50 歳以上が全体の 83.3%を占めていた。特に 50～60 代男性の報告数が多かった。

#### （3）侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

2019 年の報告数は 111 例で、前年より 19 人増加し、全数届出疾患となった 2013 年以降、最も多くなった。性別では男性 64 人、女性 47 人であった。年齢別では多い順に 80 代以上（41%）、60 代（16%）、10 歳未満（14%）であり、10～20 代の報告はなかった。

## 2 五類定点把握感染症(週報 18 疾患、月報 7 疾患)の報告状況

(Ⅲ及びⅣ 1 を参照)

### (1) 週報

(Ⅱ 3 (1) ～ (4) を参照)

#### ア. インフルエンザ／小児科定点

2019 年に県内で報告された、インフルエンザ及び小児科定点対象の疾患を年間定点当たり報告数が多かった順に並べると、上位 3 疾患はインフルエンザ、感染性胃腸炎、RS ウイルス感染症であった。

2019 年の本県におけるインフルエンザ患者の報告数は 45,357 人、定点当たり報告数は 782.89 人であり、前年と比べて 219.74 人増加した。2018/19 シーズン(2018 年第 36 週～2019 年第 35 週)は、2019 年第 2 週に定点あたり報告数が 41.79 人となり、警報レベルの基準値 30 を超えた。その後、警報レベルの終息基準値 10 を下回った 2019 年第 9 週に警報が解除された。また、2019/20 シーズン(2019 年第 36 週～2020 年第 35 週)では、シーズン開始の 2019 年第 36 週に定点あたり報告数が 34.53 人となり、2008/09 シーズン以来となる夏季の警報が発令された。

RS ウイルス感染症の 2019 年の報告数は 2,569 人、定点あたり報告数は 75.66 人であり、前年と比べて 2.31 人増加した。また、2019 年第 28 週には報告数 375 人、定点当たり報告数が 11.03 人となり、2011 年以降の週別報告数としては過去最多となった。

感染性胃腸炎の 2019 年の報告数は 5,230 人、定点当たり報告数は、154.29 人であり、前年と比べて 40.30 人減少した。また、警報レベルの開始基準値 20 を上回る週はなかった。

#### イ. 眼科定点

県内の急性出血性結膜炎(AHC)の報告数は 3 人、定点当たり報告数は 0.33 人であり、前年と比べて 1.12 人減少した。

流行性角結膜炎(EKF)の報告数は 720 人、定点当たり 79.99 人であり、前年と比べて 34.01 人減少した。

#### ウ. 基幹定点

県内の細菌性髄膜炎の報告数は 17 人、定点当たり報告数は 2.43 人で、前年と比べて 2.00 人減少した。

無菌性髄膜炎の報告数は 50 人、定点当たり報告数は 7.14 人で、前年と比べて 1.59 人減少した。

マイコプラズマ肺炎の報告数は 96 人、定点当たり報告数は 13.71 人であり、基幹定点の疾患のうち最も報告数が多かった。前年と比べても 7.05 人増加した。

クラミジア肺炎の報告数は9人、定点あたり報告数は1.29人で、前年と比べて0.73人増加した。

感染性胃腸炎（ロタウイルス）の報告数は23人、定点あたり報告数は3.29人で、前年と比べて2.85人減少した。

## （２）月報

（Ⅱ４（１）～（４）を参照）

### ア．性感染症(STD)

2019年県内で報告された性器クラミジア感染の報告数は258人、定点当たり報告数は21.50人であり、前年と比べて2.49人増加した。

性器ヘルペスウイルス感染症は報告数92人、定点当たり報告数7.66人であり、前年と比べて1.42人減少した。

尖形コンジローマは報告数40人、定点当たり報告数3.33人であり、前年と比べて0.67人減少した。

淋菌感染症は報告数29人、定点当たり報告数2.42人であり、前年と比べて0.43人増加した。

### イ．基幹定点

県内のメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）感染症の報告数は546人、定点当たり報告数が77.99人で基幹定点の疾患のうち最も報告数が多かった。前年と比べても5.28人増加した。

ペニシリン耐性肺炎球菌（PRSP）感染症は報告数97人、定点あたり報告数13.84人であり、前年と比べて3.61人減少した。

薬剤耐性緑膿菌感染症は報告数1人、定点あたり報告数0.14人であった。前年の報告数は0人であった。

また、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症およびペニシリン耐性肺炎球菌感染症は定点当たり患者報告数の全国値を上回った。

MEMO

### 3 週別患者発生状況

#### (1) 報告数一覧表（沖縄県）

	疾患名	報告数 (人)		定点あたり患者報告数 (人／定点)		週平均の定点あたり患者報告数 (人／定点／週)	
		2018年	2019年	2018年	2019年	2018年	2019年
小児 科 定点	インフルエンザ	32,178	45,357	563.15	782.89	10.83	15.06
	RSウイルス感染症	2,494	2,569	73.35	75.66	1.41	1.46
	咽頭結膜熱	970	1,555	28.56	45.83	0.55	0.88
	A群溶血性レンサ球菌感染症	2,555	2,243	75.15	66.14	1.45	1.27
	感染性胃腸炎	6,616	5,230	194.59	154.29	3.74	2.97
	水痘	897	689	26.36	20.31	0.51	0.39
	手足口病	2,810	2,409	82.63	71.03	1.59	1.37
	伝染性紅斑	269	1,039	7.95	30.62	0.15	0.59
	突発性発疹	747	666	21.92	19.63	0.42	0.38
	ヘルパンギーナ	368	513	10.88	15.20	0.21	0.29
	流行性耳下腺炎	197	152	5.91	4.56	0.11	0.09
眼科 定点	急性出血性結膜炎	13	3	1.45	0.33	0.03	0.01
	流行性角結膜炎	1,024	720	114.00	79.99	2.19	1.54
基幹 定点	細菌性髄膜炎	31	17	4.43	2.43	0.09	0.05
	無菌性髄膜炎	61	50	8.73	7.14	0.17	0.14
	マイコプラズマ肺炎	47	96	6.66	13.71	0.13	0.26
	クラミジア肺炎	4	9	0.56	1.29	0.01	0.02
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	43	23	6.14	3.29	0.12	0.06

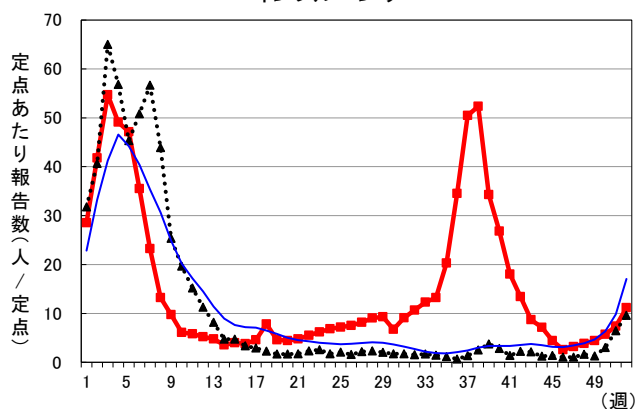
#### (2) 報告数一覧表（全国）

	疾患名	報告数 (人)		定点あたり患者報告数 (人／定点)		週平均の定点あたり患者報告数 (人／定点／週)	
		2018年	2019年	2018年	2019年	2018年	2019年
小児 科 定点	インフルエンザ	1,898,941	1,876,083	384.40	379.77	7.39	7.30
	RSウイルス感染症	120,743	140,093	38.29	44.39	0.74	0.85
	咽頭結膜熱	73,959	75,449	23.46	23.91	0.45	0.46
	A群溶血性レンサ球菌感染症	358,371	355,082	113.66	112.51	2.19	2.16
	感染性胃腸炎	850,138	809,153	269.63	256.39	5.19	4.93
	水痘	55,480	56,799	17.60	18.00	0.34	0.35
	手足口病	122,725	402,529	38.92	127.54	0.75	2.45
	伝染性紅斑	49,174	108,223	15.60	34.29	0.30	0.66
	突発性発疹	71,177	64,521	22.57	20.44	0.43	0.39
	ヘルパンギーナ	99,304	97,069	31.50	30.76	0.61	0.59
	流行性耳下腺炎	23,684	15,153	7.51	4.80	0.14	0.09
眼科 定点	急性出血性結膜炎	560	343	0.80	0.49	0.02	0.01
	流行性角結膜炎	30,631	23,077	44.01	33.25	0.85	0.64
基幹 定点	細菌性髄膜炎	506	455	1.05	0.95	0.02	0.02
	無菌性髄膜炎	806	815	1.68	1.70	0.03	0.03
	マイコプラズマ肺炎	5,598	6,080	11.66	12.69	0.22	0.24
	クラミジア肺炎	144	94	0.30	0.20	0.01	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	3,234	4,703	6.74	9.82	0.13	0.19

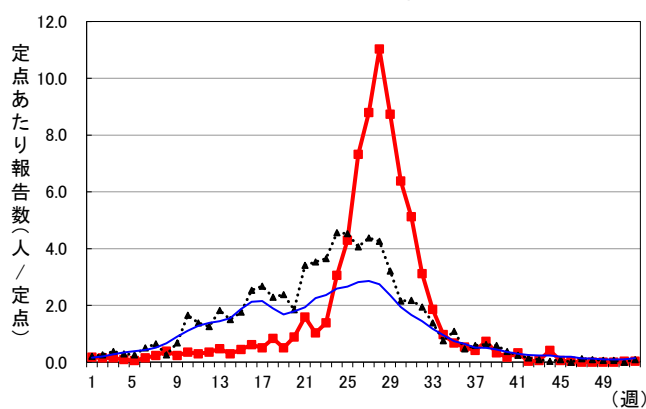
### (3) グラフ一覧 (沖縄県)

— 2019年    ..... 2018年    — 過去5年間の平均  
 \*過去5年間の平均: 前週、当該週、後週の合計15週の平均

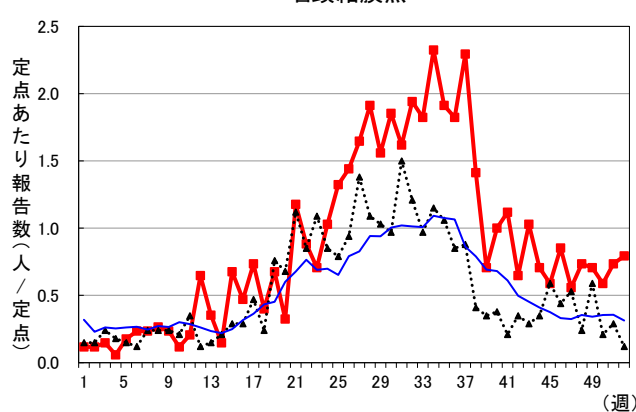
インフルエンザ



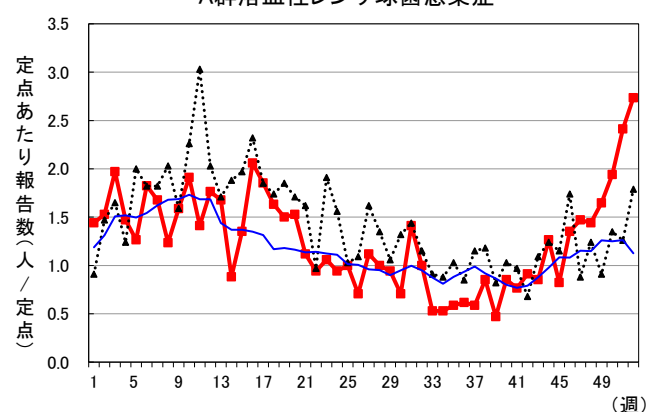
RSウイルス感染症



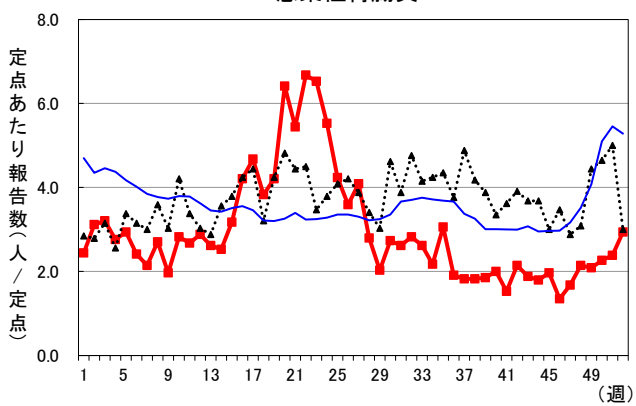
咽頭結膜熱



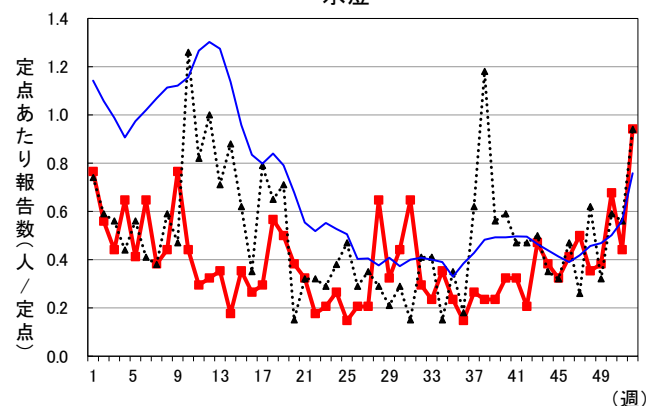
A群溶血性レンサ球菌感染症



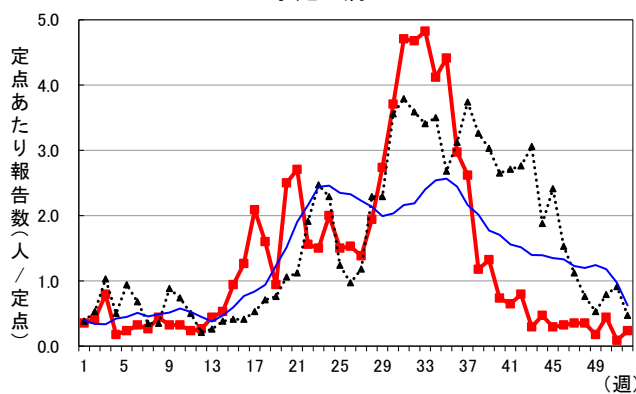
感染性胃腸炎



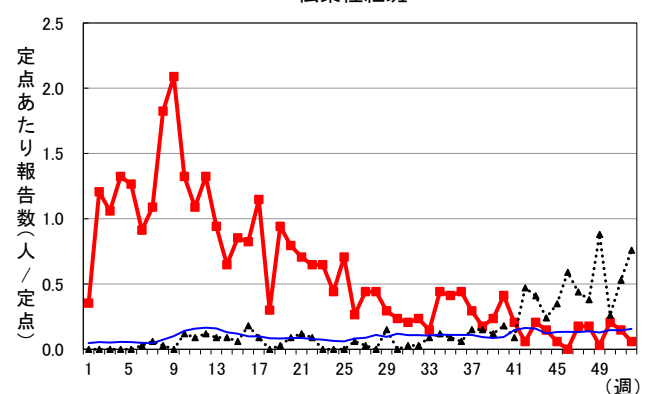
水痘



手足口病

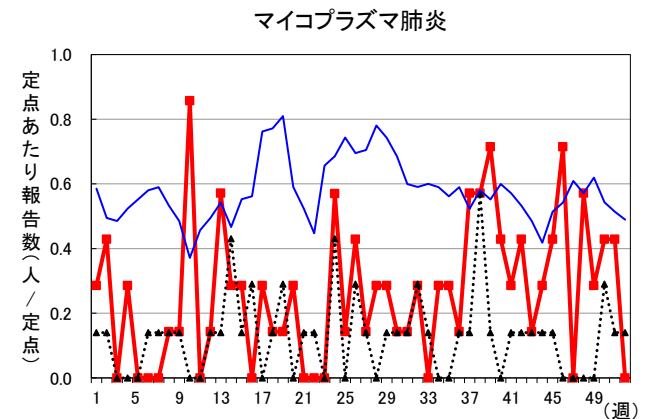
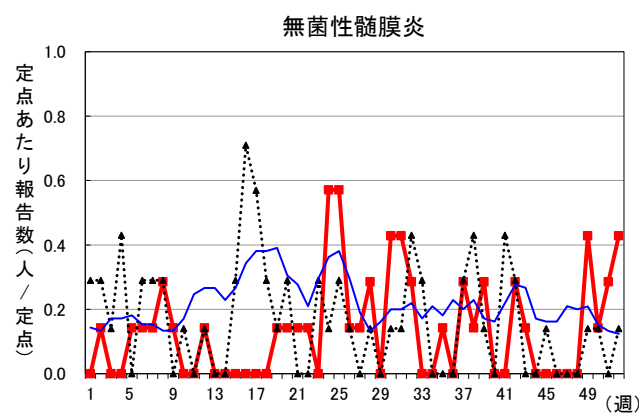
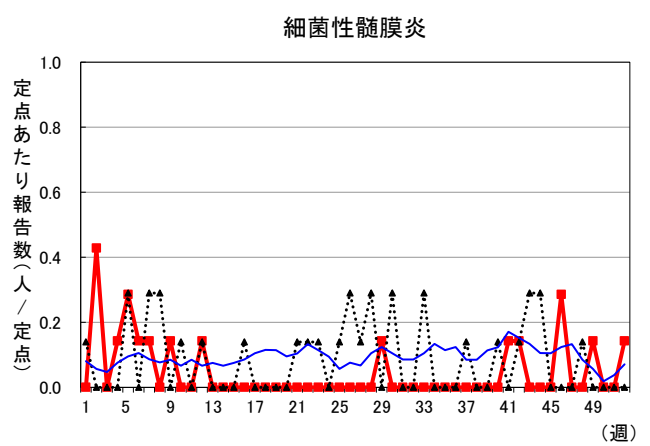
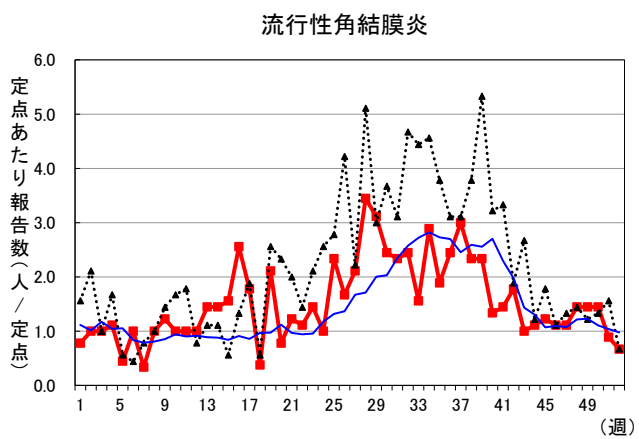
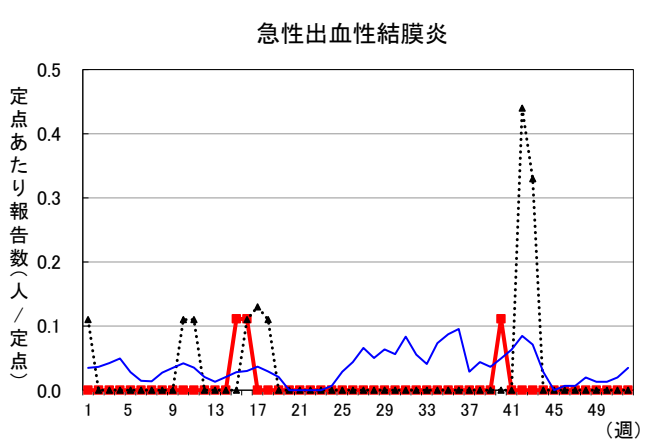
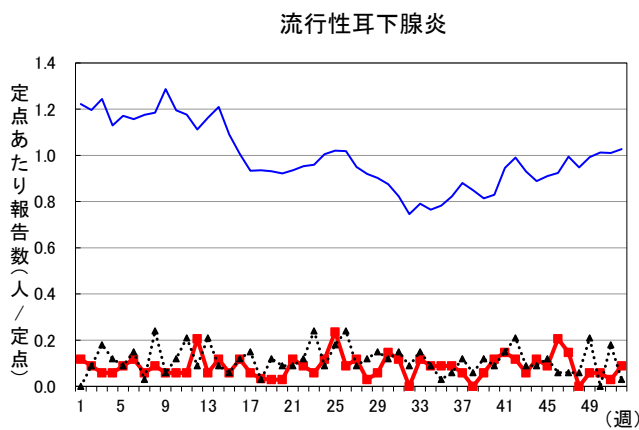
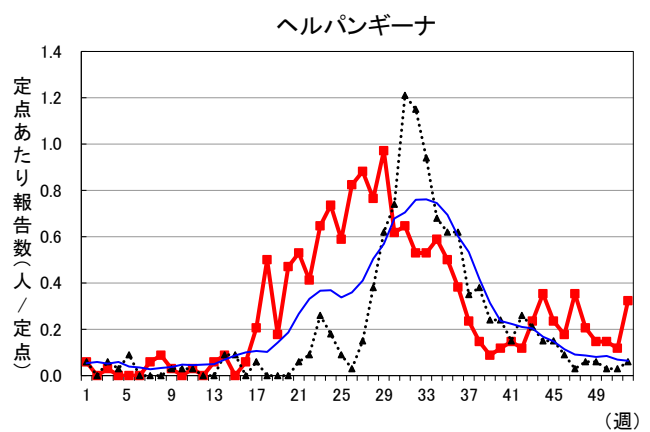
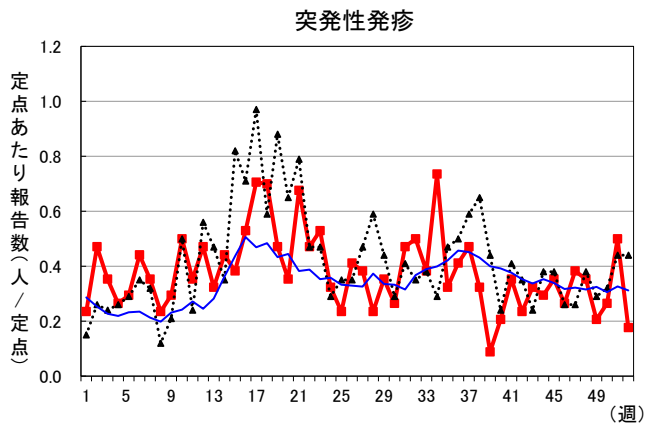


伝染性紅斑

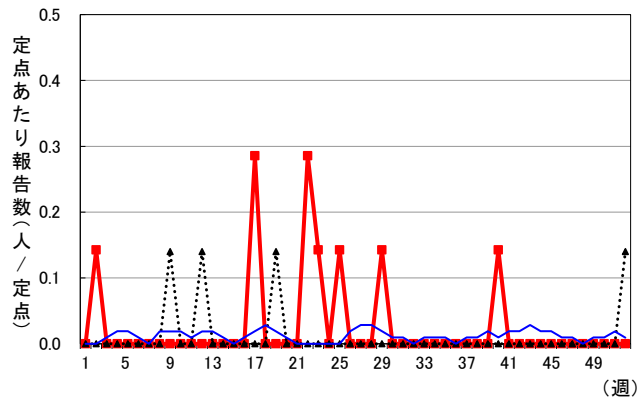


グラフ一覧（沖縄県）

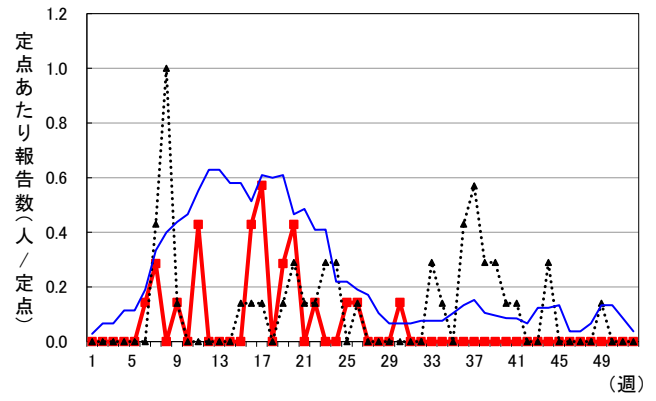
— 2019年    ..... 2018年    — 過去5年間の平均  
 \*過去5年間の平均: 前週、当該週、後週の合計15週の平均



クラミジア肺炎

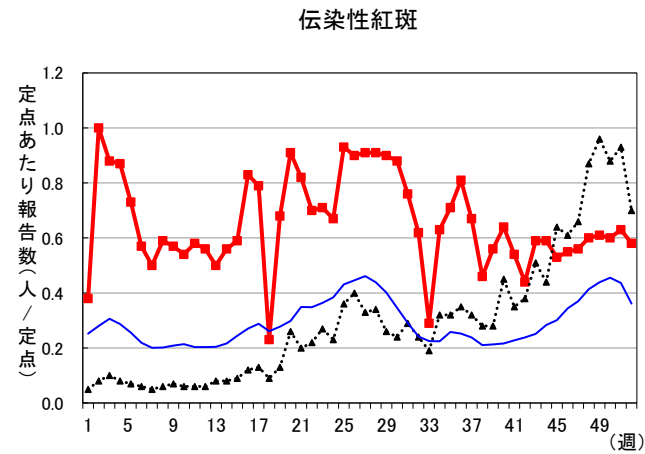
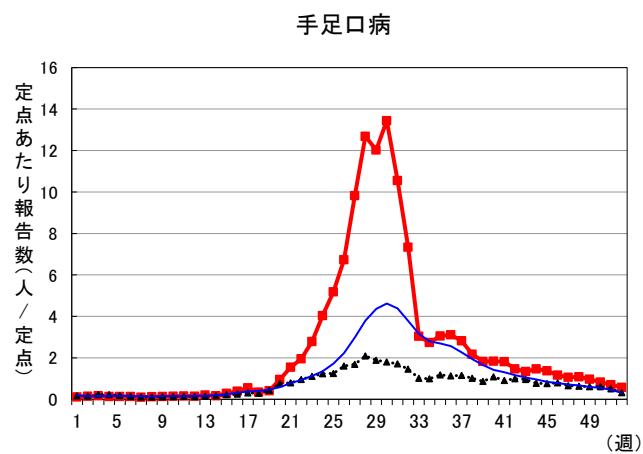
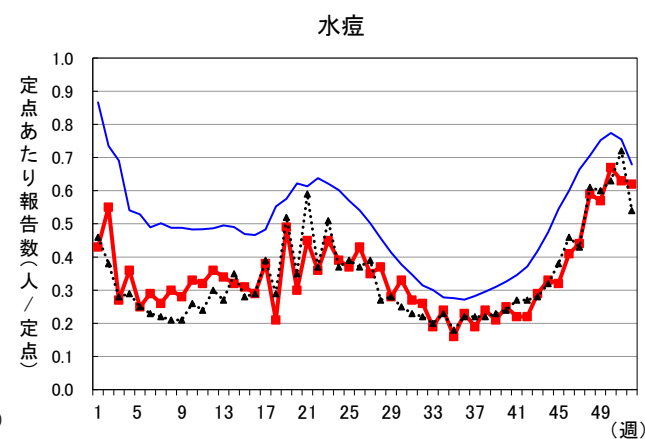
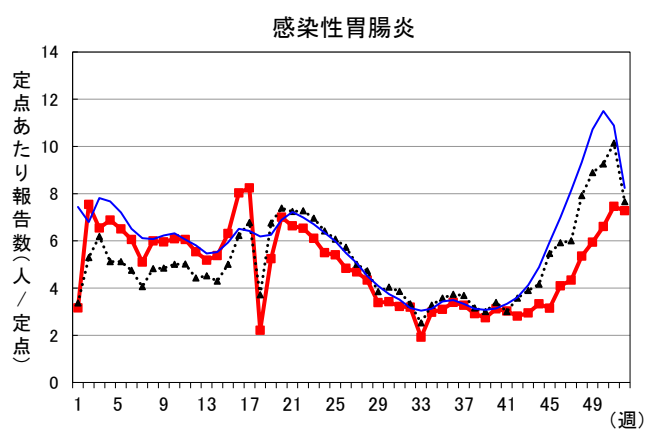
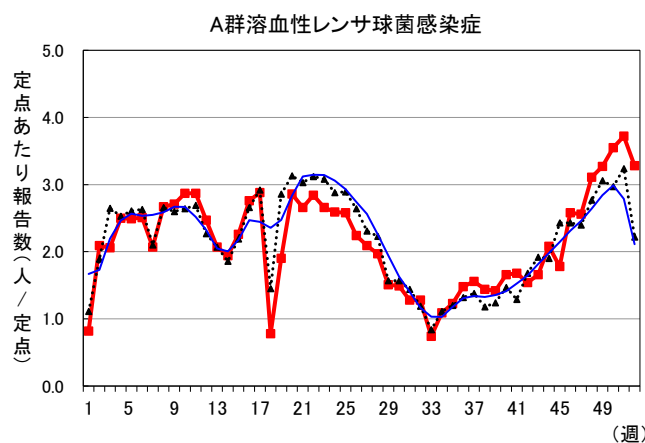
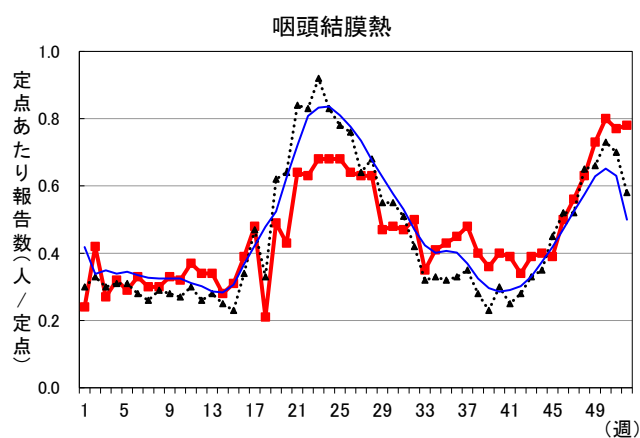
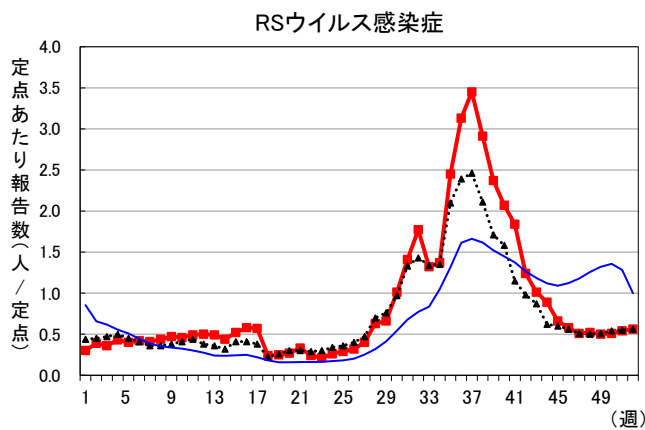
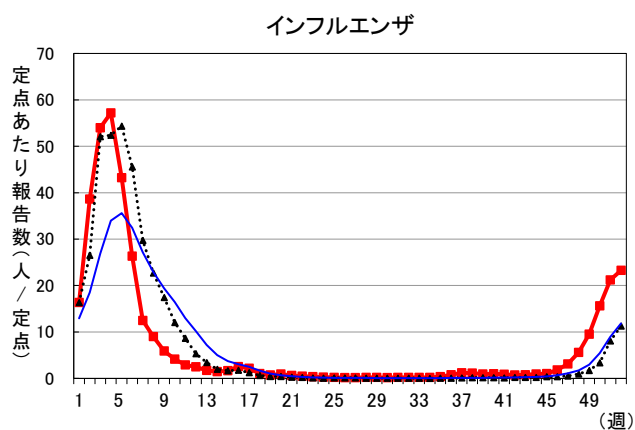


感染性胃腸炎(ロタウイルス)



#### (4) グラフ一覧 (全国)

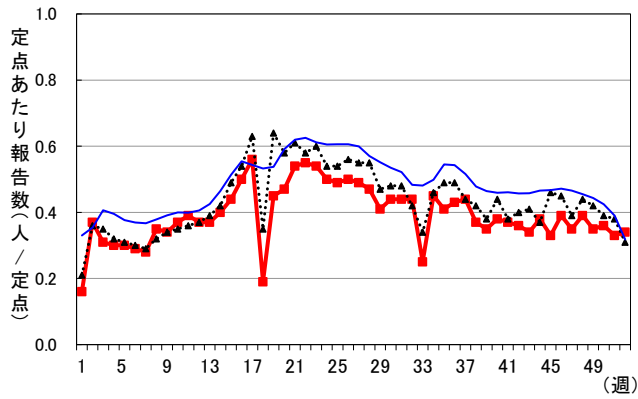
— 2019年    ..... 2018年    — 過去5年間の平均  
\*過去5年間の平均:前週、当該週、後週の合計15週の平均



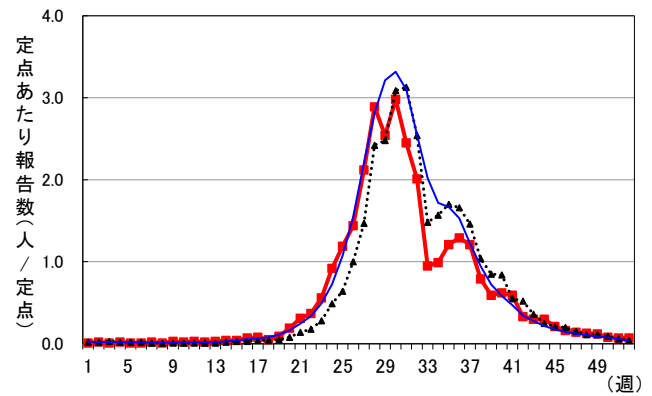
グラフ一覧（全国）

— 2019年    ..... 2018年    — 過去5年間の平均  
 \*過去5年間の平均: 前週、当該週、後週の合計15週の平均

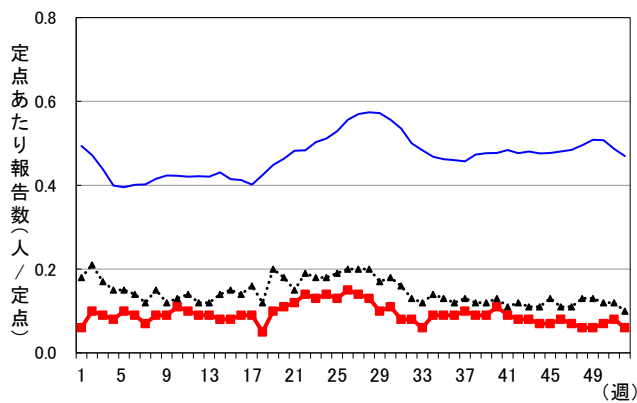
突発性発疹



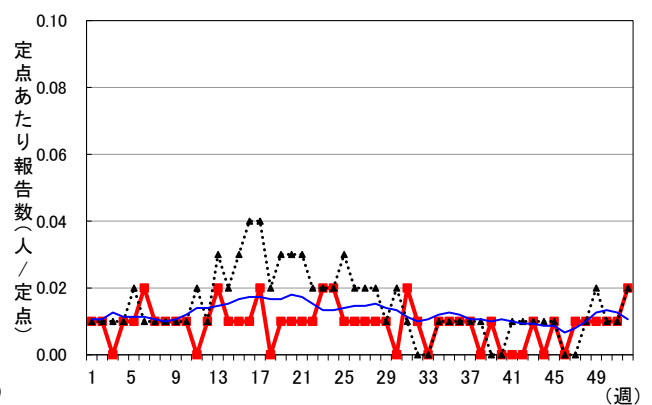
ヘルパンギーナ



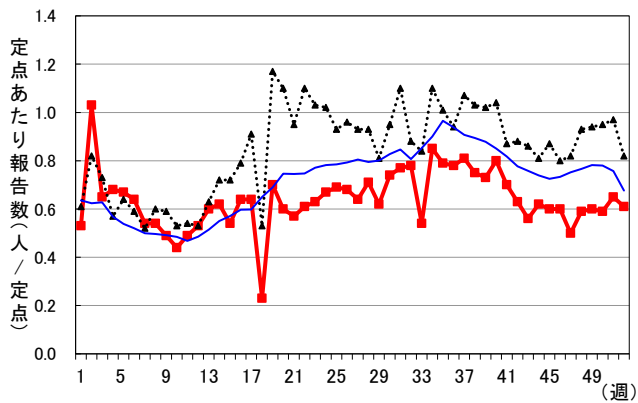
流行性耳下腺炎



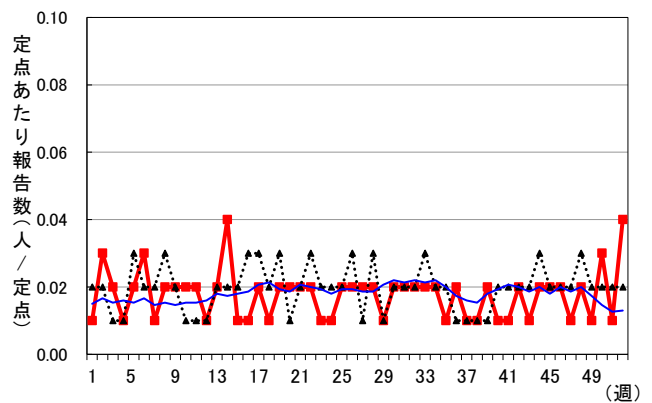
急性出血性結膜炎



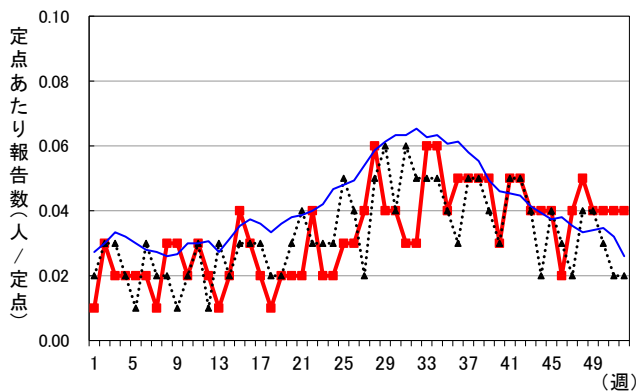
流行性角結膜炎



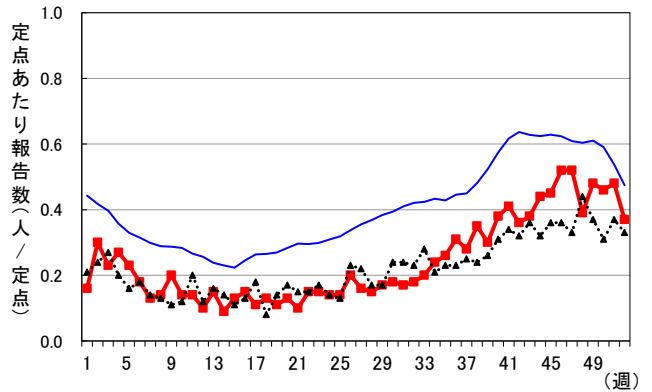
細菌性髄膜炎



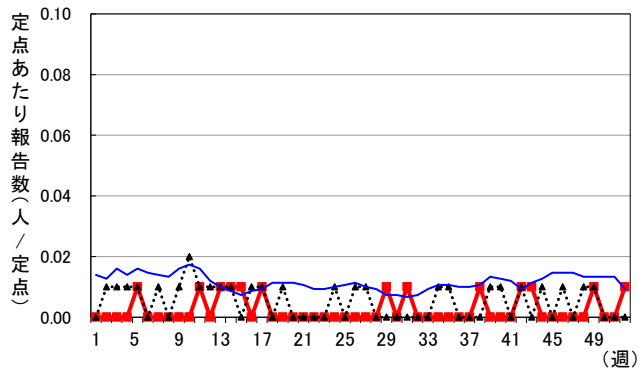
無菌性髄膜炎



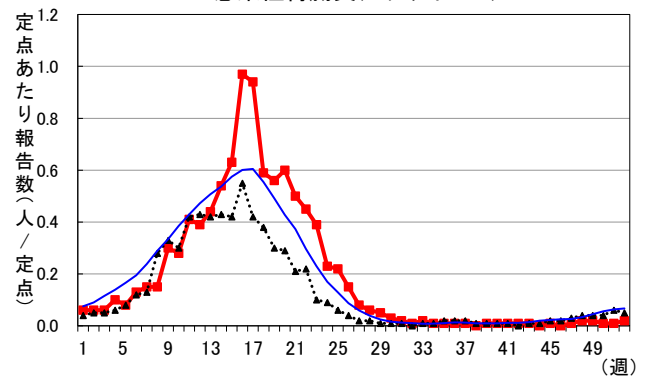
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

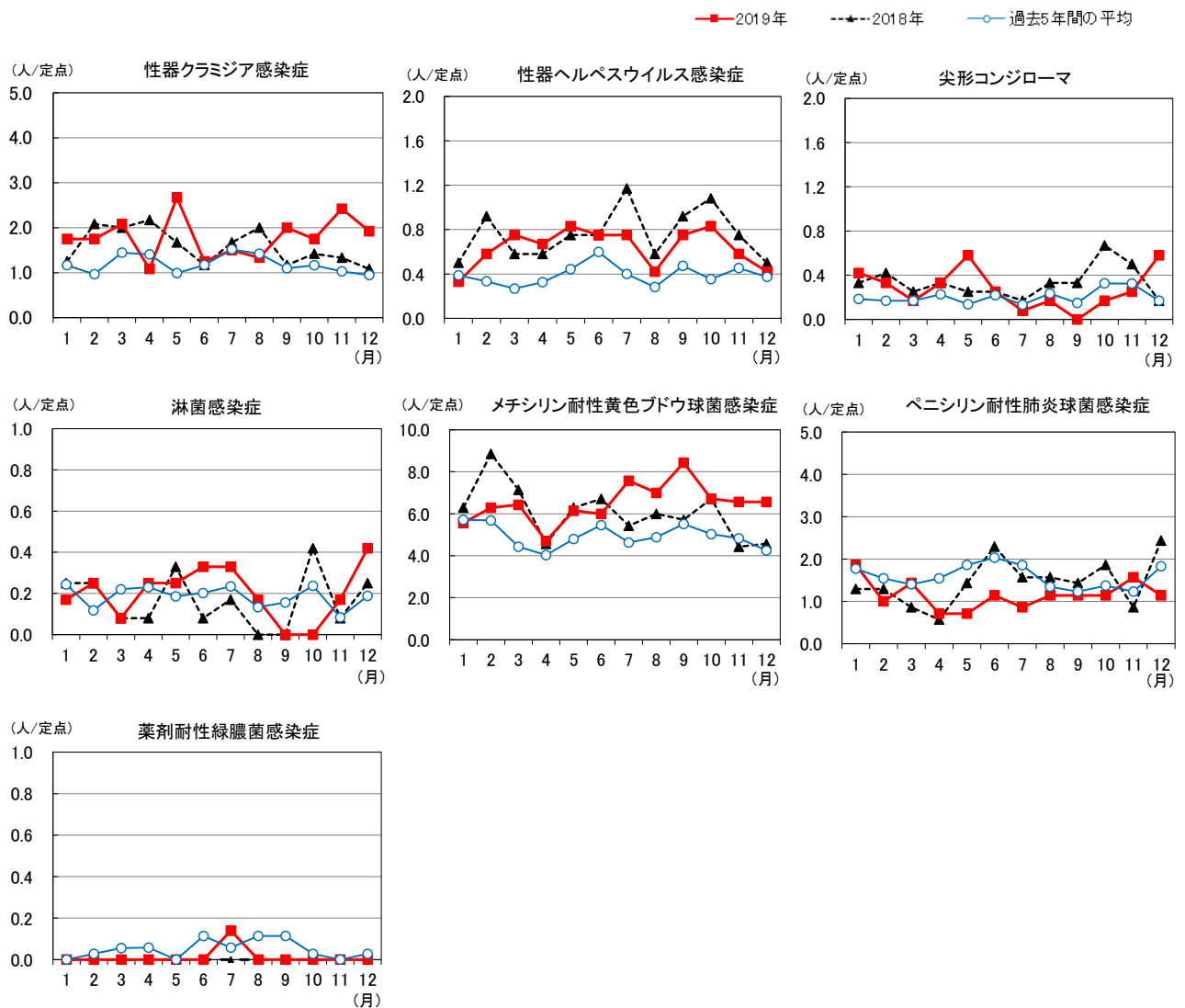


#### 4 月別患者発生状況

##### (1) 報告数一覧表（沖縄県）

	疾患名	報告数(人)		定点あたり患者報告数 (人／定点)		月平均の定点あたり患者報告数 (人／定点／月)	
		2018年	2019年	2018年	2019年	2018年	2019年
STD	性器クラミジア感染症	228	258	19.01	21.50	1.58	1.79
	性器ヘルペスウイルス感染症	109	92	9.08	7.66	0.76	0.64
	尖形コンジローマ	48	40	4.00	3.33	0.33	0.28
	淋菌感染症	24	29	1.99	2.42	0.17	0.20
基幹 定点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	509	546	72.71	77.99	6.06	6.50
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	122	97	17.45	13.84	1.45	1.15
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	1	0.00	0.14	0.00	0.01

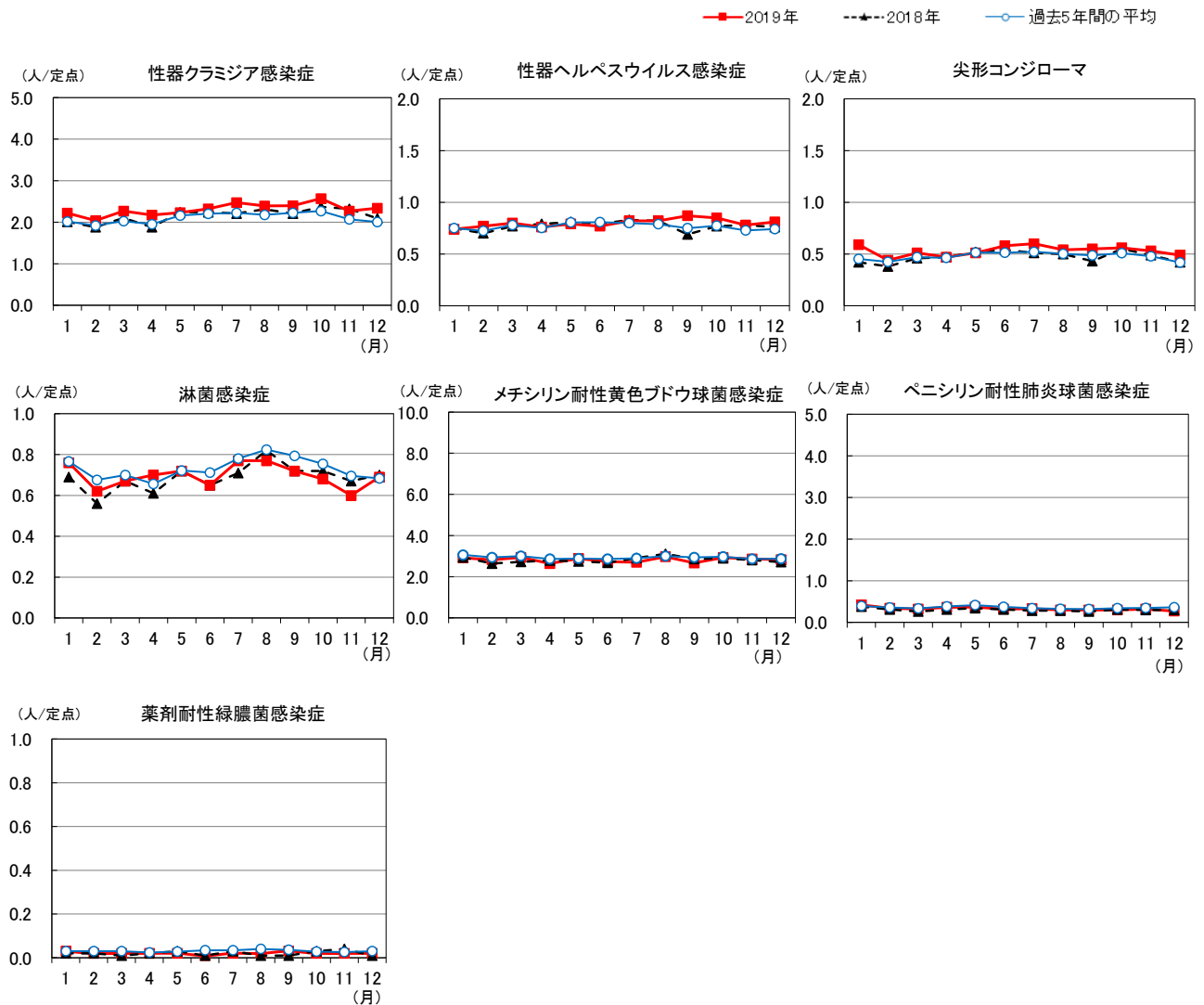
##### (2) グラフ一覧（沖縄県）



### (3) 報告数一覧表 (全国)

	疾患名	報告数(人)		定点あたり患者報告数 (人/定点)		月平均の定点あたり患者報告数 (人/定点/月)	
		2018年	2019年	2018年	2019年	2018年	2019年
STD	性器クラミジア感染症	25,467	27,221	25.88	27.69	2.16	2.31
	性器ヘルペスウイルス感染症	9,129	9,413	9.28	9.58	0.77	0.80
	尖形コンジローマ	5,609	6,263	5.70	6.37	0.48	0.53
	淋菌感染症	8,125	8,205	8.26	8.35	0.69	0.70
基幹 定点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	16,311	16,241	33.91	33.84	2.83	2.82
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1,895	1,754	3.94	3.65	0.33	0.30
	薬剤耐性緑膿菌感染症	121	127	0.25	0.26	0.02	0.02

### (4) グラフ一覧(全国)



MEMO